

2020年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月29日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)岸野 誠人
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部部長 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 2019年12月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第2四半期の業績 (2019年5月1日～2019年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第2四半期	5,618	1.9	274	31.8	289	31.0	102	△10.7
2019年4月期第2四半期	5,512	1.6	208	△30.5	220	△29.1	114	△42.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第2四半期	12.68	—
2019年4月期第2四半期	14.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第2四半期	6,819	5,323	78.1
2019年4月期	7,262	5,271	72.6

(参考) 自己資本 2020年4月期第2四半期 5,323百万円 2019年4月期 5,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2020年4月期	—	6.00	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の業績予想 (2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.7	572	17.2	600	10.6	359	28.6	44.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期2Q	8,186,400株	2019年4月期	8,186,400株
② 期末自己株式数	2020年4月期2Q	116,683株	2019年4月期	116,658株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期2Q	8,069,731株	2019年4月期2Q	8,069,742株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期(2019年5月1日～2019年10月31日)における外食業界は、消費税増税を背景に他業種他業態との顧客獲得競争が激化しているほか、労働コストや物流コストの上昇により、一層厳しさを増しております。

当社業績につきましては、第1四半期に続き前年をクリアすることが出来、売上高56億18百万円(前期比1.9%増)となりました。

10月には大型台風上陸の影響を受けた鉄道の計画運休やショッピングセンターの休業もあり、創業来初の全店休業を余儀なくされました。その影響が大きく、既存店売上の対前期比超えは11カ月連続で途絶えましたが、消費税増税に対応するため、無添加生麺に相性が良い豪華海鮮(うに・いくら)を使用したスパゲッティメニューや夏季に投入した椿屋グループのプレミアムアイスコーヒー等のメニュー政策に加え、サジェスションを強化した接客サービスが相乗効果を生み、買上皿数や客単価の上昇ならびにリピーターの獲得に繋がられました。災害対応に関しましては、年々被害が拡大している天候不順や付随して発生する停電等への備えを軸とした新たなBCP策定にも着手しております。

利益面におきましては、営業利益は2億74百万円(同31.8%増)、経常利益は2億89百万円(同31.0%増)、四半期純利益につきましては、1億2百万円(同10.7%減)となりました。既存店強化を進めた結果、これまで新規出店にかかっていた費用を抑制出来たこともあわせ、経常利益率も四半期ベースで4.0%から5.1%へ上昇しております。主に労働生産性向上に向け、質の高い接客サービスはもちろんのこと、トップクオリティの商品づくりに特化した調理・盛り付けの社内コンテストの実施により、店舗全体のキャストの層が厚くなるなど育成に注力した効果が大きく、社員の公休取得数増加と時間外労働の抑制にも繋がっております。同業のみならず今後さらに増えていくと予想される人材獲得競争をふまえ、求人募集費等を抑制しつつ接客サービスの高質化を図るため、正社員を対象に100人規模での合宿研修を実施しております。キャストの定着率向上に向けて、募集から採用、育成、定着に至るまでのプロセスを分析しながら、認識出来た課題に対する改善を進めております。

また、本日開催の取締役会により、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、株価及び業績向上への意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議いたしました。

消費税増税といった逆風もありますが、クリスマス、年末年始商戦といった最大商戦においても「あったら楽しい・手の届く贅沢」の提供を具現化して業績向上に繋げるために、従業員一同全力で取り組んでまいります。

◎11月20日(水) 京王線調布駅徒歩1分 調布パルコ7階にグランドオープンいたしました。

「Cheese Egg Garden 調布パルコ店」



(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて2億54百万円減少し、18億27百万円となりました。これは、現金及び預金が1億18百万円減少、S C預け金が50百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億87百万円減少し、49億91百万円となりました。これは、建物が73百万円減少、敷金が28百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて4億42百万円減少し、68億19百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて4億62百万円減少し、9億86百万円となりました。これは、未払金が1億95百万円減少、借入金が1億50百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて31百万円減少し、5億9百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4億94百万円減少し、14億96百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて51百万円増加し、53億23百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月31日に公表いたしました、2020年4月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,307	1,181,704
売掛金	142,924	130,656
SC預け金	283,138	232,307
商品及び製品	40,268	42,648
原材料及び貯蔵品	92,541	90,138
前払費用	140,617	137,556
その他	83,198	13,216
貸倒引当金	△548	△363
流動資産合計	2,082,447	1,827,866
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,339,666	1,266,475
工具、器具及び備品(純額)	463,653	414,495
土地	939,000	939,000
リース資産(純額)	56,536	33,700
その他(純額)	134,180	134,996
有形固定資産合計	2,933,036	2,788,669
無形固定資産	29,630	27,141
投資その他の資産		
長期前払費用	20,112	15,473
繰延税金資産	238,371	238,302
差入保証金	378,834	372,720
敷金	1,538,127	1,509,894
その他	41,673	39,646
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	2,217,117	2,176,036
固定資産合計	5,179,785	4,991,846
資産合計	7,262,232	6,819,712

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,128	200,818
1年内返済予定の長期借入金	150,000	-
リース債務	45,140	28,631
未払金	545,829	350,271
未払賞与	115,812	125,882
未払費用	110,254	93,372
未払法人税等	97,557	67,461
未払消費税等	92,867	82,718
預り金	28,264	11,548
資産除去債務	30,561	23,910
その他	2,045	2,335
流動負債合計	1,449,460	986,951
固定負債		
リース債務	18,603	8,584
退職給付引当金	337,907	340,554
資産除去債務	163,660	139,249
その他	20,984	20,984
固定負債合計	541,155	509,373
負債合計	1,990,616	1,496,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	100,000
資本剰余金	683,009	1,256,350
利益剰余金	4,002,260	4,056,160
自己株式	△100,429	△100,469
株主資本合計	5,258,181	5,312,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,435	11,347
評価・換算差額等合計	13,435	11,347
純資産合計	5,271,616	5,323,387
負債純資産合計	7,262,232	6,819,712

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
売上高	5,512,130	5,618,785
売上原価合計	1,487,148	1,503,110
売上総利益	4,024,981	4,115,674
販売費及び一般管理費	3,816,446	3,840,893
営業利益	208,535	274,781
営業外収益		
受取利息	53	31
受取配当金	387	416
受取家賃	12,700	12,700
協賛金収入	-	2,561
その他	3,189	2,228
営業外収益合計	16,330	17,937
営業外費用		
支払利息	1,936	925
不動産賃貸原価	1,376	1,550
その他	904	1,164
営業外費用合計	4,216	3,641
経常利益	220,649	289,078
特別損失		
固定資産除却損	6,287	6,914
減損損失	38,384	29,884
役員退職慰労金	-	82,500
特別損失合計	44,671	119,298
税引前四半期純利益	175,977	169,779
法人税等	61,435	67,461
四半期純利益	114,542	102,318

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	175,977	169,779
減価償却費	271,218	276,646
減損損失	38,384	29,884
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,173	2,646
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△122	△186
受取利息及び受取配当金	△441	△447
支払利息	1,936	925
固定資産除却損	6,287	-
売上債権の増減額(△は増加)	80,434	63,097
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,326	23
前払費用の増減額(△は増加)	5,306	3,060
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△320	45,830
長期前払費用の増減額(△は増加)	△4,757	2,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,118	△30,309
未払金の増減額(△は減少)	67,272	△51,610
未払賞与の増減額(△は減少)	3,352	10,070
未払費用の増減額(△は減少)	△38,713	△16,502
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	3,496	△37,603
未払消費税等の増減額(△は減少)	24	△10,148
預り金の増減額(△は減少)	△15,573	△16,715
前受金の増減額(△は減少)	-	289
その他	3,214	585
小計	574,359	441,598
利息及び配当金の受取額	441	449
利息の支払額	△1,939	△1,305
法人税等の支払額	△114,428	△59,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,432	380,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△398,700	△300,528
無形固定資産の取得による支出	△7,960	△1,250
固定資産の除却による支出	△3,498	-
貸付金の回収による収入	300	300
差入保証金の差入による支出	△21,270	-
差入保証金の回収による収入	64,663	1,200
敷金の差入による支出	△36,181	△7,570
敷金の回収による収入	117,126	64,762
資産除去債務の履行による支出	△11,710	△31,132
その他	△11,642	△187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,874	△274,406

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△21,410	△150,000
リース債務の返済による支出	△38,385	△26,527
自己株式の取得による支出	-	△40
配当金の支払額	△48,418	△48,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,214	△224,985
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,343	△118,603
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,904	1,300,307
現金及び現金同等物の期末残高	1,310,248	1,181,704

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2019年7月30日開催の第20期定時株主総会において、資本金の額の減少について承認可決され、2019年9月1日にその効力が発生しました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が573,341千円減少し、その他資本剰余金が573,341千円増加しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。